

令和5年度

教科別学習シラバス

(学習の手引き)

3年生



府中市立府中第八中学校

3年 組 番 氏名

学習シラバスの活用方法

3年生の皆さんは、1・2年生で学習した内容をきちんと習得できたでしょうか。十分に習得できた人は、3年生の学習と平行して、1・2年生の内容をもう一度復習しましょう。そして、発展問題を通して実力を付けましょう。また、十分に習得できなかった人は、1・2年生の教科書をもう一度しっかりと復習しましょう。

高等学校の入学試験で出題される内容は、すべて中学校で学習した内容です。ですから、これまでに学習した内容（既習事項）を理解していないと、入学試験の問題も解けないこととなります。さらに、3年生で学習する内容は、当然のことながら、とても重要です。

言い方を替えれば、受験勉強とは、学校で学習する内容にきちんと取り組んでいれば、何も心配することはないのです。特に都立高等学校の共通入試問題は、学習塾など特別な学習をしなくても、学校の授業と家庭学習がしっかりとできていれば十分なのです。

もう一度、一人一人の状況に応じて、今から1・2年生の復習にしっかりと取り組むとともに、3年生の学習を進めましょう。

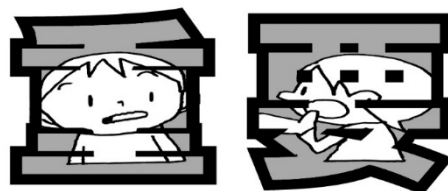
つまり、3年生の学習で何よりも大切なことは、日々の学校での学習（授業）に真面目に、かつ真剣な態度で取り組むとともに、家庭学習を計画的に実践することです。1日3時間はしっかりと学習しましょう。特に、1学期と夏休み中の学習は、2学期の学習を大きく左右し、進路決定にも影響します。頑張ってください。

この学習シラバスには、3年生の1年間で、何を学習するのか、また、どのように学習すればよいのかが分かるように書いてあります。日々の学校での学習や家庭学習の進め方、定期考査に向けての取り組み方など、皆さん一人一人の学習を支援するための内容が、教科ごとに示されています。

よく読んで効果的に活用し、「新たな知識を得る楽しさ」や「分かることの喜び」を実感してほしいと思います。そして、豊かな生活と将来の目標の実現のために、学力を向上させましょう。

シラバスには次の内容が示されています。

1. 学習の進め方
2. 学習する上での注意事項
3. 家庭学習の進め方
4. 定期考査前の学習の仕方
5. 3年生での学習内容
6. 学習評価



学習シラバス（学習の手引き）を活用しよう

府中第八中学校では、各学年のシラバスを作成しています。この中には各教科の学習に関するさまざまな情報が載っています。しっかり読み込むと自己評価もできるようになっています。

◆学習する内容がつかめます

予習ができます

学習内容	
4月	・世界はうつくしいと ・握手
5月	【学力重点期間】 ・学びて時に之を習ふ ・文章の種類を選んで書こう・熟語の読み方
6月	・作られた「物語」を超えて・実用的な文章を読もう ・説得力のある構成を考えよう ・文法（助詞）
7月	【1学期期末考査】 ・俳句の可能性、俳句を味わう ・和語、漢語、外来語 ・読書を楽しむ
8月	【基礎学力テスト】
9月	・挨拶 ・故郷 ・文法（助動詞） ・慣用句、ことわざ、故事成語・漢字の造語力 【2学期中間考査】

シラバスには、「何月くらいにはこの内容を学習する予定です」ということが紹介されています。今やっている授業の内容の、次にやることが分かるので、予習をすることが可能です。

教科によっては、教科書を補足するための教材を使って授業をしたり、教科書に記載されている順番で授業を進めるのではない場合もあります。そういった時にもシラバスを読めば分かるので、予習をして授業に臨むことが可能です。

◆評価方法・内容が分かります

準備や対処ができます

8 評価について			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。【漢字、文法、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項】（	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊に感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉適切に使おうとしている。
評価材料	●定期テストの結果 ●課題の取り組み、作品の内容 ●発表や話し合いの様子 など	●授業の様子 ●定期テストの結果 ●課題の取り組み、作品の内容 ●発表や話し合いの様子	●授業の様子 ●課題の取り組みや提出状況など、作品の内容 ●発表や話し合いの様子

シラバスには「この内容を評価に用います」「学習内容が理解できたかどうか、この方法で評価します」ということが示されています。「提出物」「授業中の発言」「忘れ物をしない」等、具体的に書いてあるので、家庭に帰って提出物を仕上げたり、持ち物の準備をしたりするなど、準備や対処ができます。

◆学習習慣を身に付けましょう

いつ、どこで学習するかを決めましょう。

時折、SNS等の返信が気になって勉強に集中できないなどということも聞きます。勉強するときは返信しない。9時以降は返信しないなど友達に宣言しましょう。また、テレビやゲーム、動画鑑賞などの誘惑を断ち切ることが大切です。これができるれば「根気・やる気・集中力」などを養うことができます。粘り強く学習に向かう姿勢を貫けるといいですね。

1 使用する教材等

教科書	「国語3」光村図書 「中学書写」教育出版
副教材	「漢字の完全マスター」「読解スキル」「模擬トレ」「新・国語の便覧」「役立つ文法」
その他	ノート・書初めの手本と用紙

2 学習(授業)の進め方

- (1) 文章をしっかりと考えながら読む習慣を身に付けよう。
- (2) 音声表現を工夫して朗読出来るようにしよう。
- (3) 授業では辞書を用意して、積極的に活用する。
- (4) 先生の発問に対しては、その都度考えよう。
- (5) 積極的に発言するようにしよう。
- (6) 人の発言をしっかりと聞き、自分の意見をもつようにしよう。
- (7) ワークシートにはしっかりと取り組んで、丁寧に書こう。

3 宿題(課題)について

- (1) 課題にはしっかりと取り組んで、丁寧にやり遂げよう。
- (2) 作文や作品、発表については、目的や事前説明をよく理解し、工夫を凝らそう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

〈授業〉

- (1) 苦手な分野でも、決して投げ出さないこと。できるところまでやってみること。
- (2) 説明をしっかりと聞くこと。やり方・考え方を理解すること。
- (3) まずは、自分で考えること。それでだめなら、人にきくこと。
- (4) 授業の持ち物→ ①教科書 ②ノート ③漢字の完全マスター ④便覧
*必要に応じて「読解スキル」「役立つ文法」を持ってくること。
- (5) 黒板は必ずノートに写すこと。プリントは必ずきれいにノートに貼ること。
- (6) メモをできるだけ取ること。
- (7) 意思表示を明確にし、積極的に発言すること。
- (8) 話し合い活動は、意欲的に参加すること。

〈提出物〉

- (1) 期限内に必ず提出すること。
- (2) 決められた日時に提出すること。
- (3) 集める際は、国語係が出席番号順に並べて提出すること。
- (4) 提出日に欠席した場合は、後日、事情を説明した上で提出すること。
- (5) 忘れた場合は、翌日の朝8:10までに職員室へ提出しに来ること。

5 家庭学習の進め方

- (1) 言葉の意味や難しい漢字は、辞書で調べる習慣を身に付けよう。
- (2) 文章教材は復習が大事。くり返し文章を朗読する。授業での発問やその答えを思い出そう。
学んだことを教科書に書き込んでよい。
- (3) 文法などは復習が大事。問題を解き直し、しっかり頭に整理しよう。
- (4) 漢字はくり返し書いて覚えよう。そして、日常生活で使えるようにしよう。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 教科書は読んで、授業を思い出す。音読して読みの確認をする。
- (2) ワークシートなどの問題形式のプリントは、自力で解答し、答え合わせをすること。
不正解だったものは、なぜそうなったのか、なぜ正解がそれなのかを考えて復習すること。
- (3) 漢字の読みや書き取りができるか確認する。
- (4) 文法は基本を確認し、くり返し問題を解くこと。

7 学習内容

4月	・世界はうつくしいと ・握手	10月	・人工知能との未来 ・人間と人工知能と創造性 ・多角的に分析して書こう ・合意形成に向けて話し合おう
5月	【学力重点期間】 ・学んで時に之を習ふ ・文章の種類を選んで書こう・熟語の読み方	11月	・君待つと ・夏草 【2学期期末考査】
6月	・作られた「物語」を超えて・実用的な文章を読もう ・説得力のある構成を考えよう ・文法 【1学期期末考査】	12月	・誰かの代わりに ・書初め練習
7月	・俳句の可能性、俳句を味わう ・和語、漢語、外来語 ・読書を楽しむ	1月	・温かいスープ ・わたしを束ねないで
8月	 【基礎学力テスト】	2月	・学習を振り返ろう 【学年末考査】
9月	・挨拶 ・故郷 ・文法 ・慣用句、ことわざ、故事成語・漢字の造語力 【2学期中間考査】	3月	・漢字のまとめ ・文法（まとめ）

★ 授業は1週間に 3 時間 1年間で 105 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での取組 ・定期テストの結果 ・課題（学習カードやワークシート）の取組 作品のできばえ（内容） ・発表や話し合いの取組 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満 		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>達成度の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）</p>		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	新しい社会歴史（東京書籍：令和3年度用）	中学生の公民（帝国書院）
副教材	・つながる歴史（浜島書店）・新しい公民（浜島書店）・歴史の学習2・3（浜島書店）・3年間の総整理問題集	
その他	・ノート(歴史・公民各分野ごとに用意)	

2 学習(授業)の進め方

- (1) 授業を創り上げる
社会科の授業では、教科書の解説のような授業はしません。単元とよばれる学習範囲の中で一人一人が課題を追究していき、考えが深まっていくような授業形態をとっています。
「覚える」というのではなく、「考える」社会科だということを意識しましょう。
- (2) 世界に、日本に、地域に興味をもつ
日本の地理や歴史など、今まで学習してきた内容を踏まえ、現代社会でどのような問題が起きているのかを理解するため、日々のニュースや新聞などを使って情報を整理する力も身に付けましょう。
- (3) 歴史分野、公民分野を並行して進めます。各分野のつながりも意識しましょう。

3 宿題(課題)について

歴史、公民分野ともにワークやレポート提出があります。計画的に進めましょう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- (1) 絶えず疑問をもつ
常に「なぜだろう」「本当にそうなのだろうか」という意識をもつことは非常に大切なことです。社会は常に動き、そして絶えず変化しています。ニュースや新聞を読み、調べることで様々な社会の出来事に関心を抱き、問題意識や課題意識をもつことが重要になってきます。家庭学習などで興味をもったことについて調べてみるのもいいでしょう。授業では作業や話し合い活動を重視しています。これらを通じて理解を深めましょう。
- (2) ノート(歴史・公民)を活用しよう
ノートやレポートは必ず提出してください。学習した内容の理解度や、自ら進んで考え、課題解決ができたかなどチェックします。定期考査と共に、ノートやレポートの成績によって評価が決まります。また、ノートは自ら学習した内容を振り返ってまとめることが重要です。自分オリジナルの参考書を作るつもりでノートまとめに取り組みましょう。レポートは単元のまとめりなどで、課題を出します。
- (3) 積極的に発言する
授業を創り上げるためには、一人一人の知識や思考力が欠かせません。こちらからたくさん発問をするので、間違えることを怖がらずに答えや考えを発言しましょう。

5 家庭学習の進め方

- 家に帰ったら、5分間でも、10分間でも授業でやった内容を思い出してください。思い出すことができなかつたらワークシートや教科書・資料集を見直し、ラインマーカーなどで重要な語句をチェックしておきましょう。学習は①理解する、②理解を深める、③理解をたしかめる、④理解を定着させる、の流れです。家庭学習の進め方は以下の通りです。
- (1) 授業の前に教科書に目を通しておきましょう。理解の深さ、定着が変わってきます。
- (2) 復習には、ノート整理をしましょう。また、「ワーク(歴史)」や「3年間の総まとめ問題集(公民)」を解くなど、自分の理解をたしかめることも大切です。
- (3) 高校受験に向けては、夏休み・冬休みなどの長期休業期間を利用して、「3年間の総まとめ問題集」の地理分

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) テスト前だけの学習ではなく、日頃の小さな努力の積み重ねが大切です！
- (2) 授業は教科書に沿って学習を進めています。ノートと教科書をよく見直しましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	歴史的分野 日清・日露戦争と近代産業 公民的分野 現代社会と文化	10月	歴史的分野 新たな時代の日本と世界 公民的分野 地方自治と私たち 私たちの生活と経済
5月	【学力重点期間】 歴史的分野 第一次世界大戦と日本 大正デモクラシー 公民的分野 民主主義と日本国憲法	11月	公民的分野 消費者と経済、企業と経済 紛争のない世界へ
6月	歴史的分野 世界恐慌と日本の中国侵略 公民的分野 基本的人権の尊重 【1学期期末考査】	12月	【2学期期末考査】 公民的分野 これからの日本経済 財政 貧困解消と環境保全
7月	歴史的分野 第二次世界大戦と日本 公民的分野 法の支配	1月	公民的分野 持続可能な社会を目指して
8月	歴史的分野 戦後日本の出発 公民的分野 民主政治と私たち 【基礎学力テスト】	2月	三学年のまとめ(地理的、歴史的分野復習) 【学年末考査】
9月	歴史的分野 冷戦と日本の発展 公民的分野 国の政治のしくみ 【2学期中間考査】	3月	三学年のまとめ(歴史的、公民的分野復習)

★ 授業は1週間に 4 時間を 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 学力重点期間テスト 小テスト 確認テスト ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノート レポート等 授業中の発言 社会科班での取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ノート 授業中の発言 社会科班での取り組み ワーク、問題集、レポート ※粘り強く、試行錯誤しながら課題解決に取り組む姿を評価します
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 <p>A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 50%未満</p>		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります <p>達成度の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)</p>		

9 その他

<復習:地理> 世界・日本の諸地域の学習内容を、歴史的分野、公民的分野と関連して扱います。
 <歴史> 日本の歴史の大きな流れと、身近な地域の変化とを結びつけられるようにしましょう。
 単元のまとまりごとにレポート課題を設定する予定。
 <公民> 身近な事例を基に公民的視野で追究します。また、外部講師による出前授業を実施します。

1 使用する教材等

教科書	数学の世界 3年 (大日本図書)
副教材	数学の学習ノート 3年 (正進社)
その他	ノート、2年の基礎整理、プレ模擬

2 学習(授業)の進め方

分からないことが分かるようになる、できないことができるようになることが勉強です。1時間の授業の中で、何を理解して、何ができればよいのか、授業の中で身に付けたい力を明確にしていきます。

- (1) 説明…1日1単元(教科書2ページ程度)の説明を聞きます。
- (2) 問題演習…教科書の問題を解いたり、プリントを活用したりして、多くの問題に取り組みます。
- (3) 宿題…ワークやプリントなどを授業の進行に合わせて解いていきます。

3 宿題(課題)について

授業の進み具合によって、ワークを計画的に自分で進めましょう。提出もあります。また適宜、教科書の問題やプリント等になる場合もあります。

4 学習(授業)をする上で注意すること

1、2年生では、学習の仕方や授業の受け方をしっかりと身に付けたと思います。3年生では、これまで学んだ数学をさらに進めて、いろいろな知識や見方・考え方を身に付けていきましょう。自分で考えることを大切にいきましょう。また、入試を見据えた学習も心がけていきましょう。

- (1) 「気付く力」を身に付けましょう！
すでに学んだことを基にして、どんなことが分かるかな、どうすればいいかな、どうなるかな、と考えながら、学習に取り組みましょう。
- (2) 「表現する力」を身に付けましょう！
自分の考えを他の人に分かりやすく伝えようとすることで、すじ道を立てて考える力が身に付いていきます。
- (3) 「記録する力」を身に付けましょう！
黒板を写すだけではなく、大切だと思ったこと、疑問に感じたこと、自分で考えたことなどもノートやプリントに書き加えましょう。振り返りレポートでは、学んだことを言葉で表現し、学びの積み重ねをしましょう。自分で学習内容を把握し、調整することが今後大切になってきます。
- (4) 「自力で解決する力」を身に付けましょう。
毎回の授業や宿題等で、自分で考え、問題を解決するように心がけましょう。定期考査や小テスト、振り返りレポート等は日々の努力の積み重ねを発揮する場にしていきましょう。

5 家庭学習の進め方

- (1) ワーク等の課題には時間をかけて丁寧に取り組む。分からない問題や間違えた問題には印を付けるなどして自分の課題を見直せるようにしましょう。また、**丸つけだけでなく、答えまでの「過程」**を書いたり、説明したりできるように取り組みましょう。
- (2) 基本的な内容を定着させるためには、ワークの基本問題(A問題)を自分の力で何も見ないでできるようにするまで繰り返し学習する。発展的な内容まで進めていく場合は、授業の復習をし、ワークの標準・発展問題(B・C問題)が確実にできるように繰り返し学習すると成果が上がります。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) まずは、教科書、授業ノートやプリントを読んで、基本問題を徹底的にやりましょう。
- (2) 次は、問題集の標準・発展問題をできるだけやり、1題ずつできない問題をできるようにしましょう。
- (3) 余裕があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジしてみましょう。

できなかった問題は答えを見て終わりにせず、**自分で**できるようになるまで何度も取り組みましょう。

7 学習内容

4月	【進級記念テスト】 ・1章 多項式	10月	・5章 相似と比 ・6章 円
5月	【学力重点期間】 ・1章 多項式 ・2章 平方根	11月	【2学期期末考査】 ・7章 三平方の定理
6月	・2章 平方根 【1学期期末考査】	12月	
7月	・3章 2次方程式	1月	・8章 標本調査
8月	【基礎学力テスト】 ・4章 関数	2月	【学年末考査】
9月	【2学期中間考査】	3月	

★ 授業は1週間に 4 時間を 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。 ○事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	○数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力などが身に付いている。	○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題を解決しようとする態度が身に付いている。
評価材料	・定期考査（学力重点期間中のテストを含む） ・休み明けテスト ・小テスト など	・定期考査（学力重点期間中のテストを含む） ・休み明けテスト ・小テスト など	・定期考査（学力重点期間中のテストを含む） ・振り返りレポート など
評価	・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）20%未満		
評定	・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 各評定の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）、80%以上90%未満で4（十分満足できる） 50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）		

9 その他

- (1) 定期考査や小テストの再テストや補習を行っていく予定です。
 (2) わからないところはそのままにせず、授業後や放課後に質問をしましょう。

1 使用する教材等

教科書	理科の世界3 (大日本図書)
副教材	理科便覧
その他	よくわかる理科の学習(明治図書)、これで! 完ぺき理科3年間の総仕上げ問題集(学宝社)

2 学習(授業)の進め方

<p>理科は、「何だこれ。これどうなっているんだ。何でこんなことになるんだ。」という疑問を明らかにしていくことが大切です。観察・実験を通してその疑問を明らかにしていきましょう。</p> <p>(1) 復習 : 前回の学習を復習し、何の勉強をしているか確認する。</p> <p>(2) 目的 : 今日の学習の目的は何か確認する。(疑問提起)</p> <p>(3) 観察・実験 : 観察・実験を行いデータを得る。</p> <p>(4) 考察・まとめ : データをもとに考察し疑問を明らかにする。また、今日の学習のまとめを行う。</p> <p>(5) 問題 : 毎回の授業ではないが、各章ごとに問題を解いて学習の理解・定着を確認する。</p>
--

3 宿題(課題)について

<p>・宿題、課題、レポートは、必要に応じて出します。提出期限を守りましょう。</p>

4 学習(授業)をする上で注意すること

<p>・授業中先生の話をしっかり聞き、その話の内容について、自ら考えられるようになろう。(話を聞いて分かっただけでなく、自分の頭で考え理解することです。)</p> <p>・「?」という疑問をもつことが大切です。その疑問を明らかにするために行う、観察・実験に自ら取り組み、正確なデータを得るようにしましょう。正確なデータは、考察を行いやすくし、疑問を明らかにする近道だからです。</p> <p>(1) 先生の話をしっかり聞く。 授業を理解するためには、しっかりと話を聞くことです。話を聞かないと、自分自身が授業に参加できなくなり、授業内容が分からなくなります。また、観察・実験の方法を間違え、事故にもつながります。</p> <p>(2) 観察、実験に自ら取り組みよう。 観察、実験の技量を高めることができ、その結果、正確なデータを得やすくなります。正確なデータは考察を行いやすくし、疑問を解く近道につながります。</p> <p>(3) ノートやプリントを正確に記入して、プリントはファイルにとじておきましょう。 授業は、ノートやプリントで進めます。しっかりと記入されていないと、家での復習ができません。(定期的にノートやプリント点検を行います。)</p> <p>(4) 話し合いに積極的に参加しましょう。 話し合いに参加するためには、まず、自分の考えをまとめなければいけません。考えをまとめることは、より学習の理解を深めることになります。また、他の人に意見を聞くことにより、自分の学習に対する理解度を高めることもできます。</p> <p>(5) 分からないところは、こまめに質問しよう! 学習の遅れにつながります。</p>
--

5 家庭学習の進め方

<p>・「復習」は、必ずやりましょう。理解できていないところが確認でき、翌日、質問をすることができるからです。また、学習の定着も図ることができます。(もし時間があれば、簡単な予習もできると良いですね。)</p> <p>・配布される問題集や問題のプリントは、必ずやりましょう。(定期考査に出題します。)</p>
--

6 定期考査前の学習の仕方

<p>(1) 教科書を読んで、何の勉強をしたのか確認する。</p> <p>(2) 授業で使用したノートやプリント(★ポイント)、レポート等を見直して理解を深める。</p> <p>(3) 「問題集」、「授業プリントの問題」を解く。間違ったところをやり直す。また、質問する。</p> <p>(4) 前回の定期考査の問題を解く。(復習問題として、前回の定期考査を出題します。)</p>

7 学習内容

月	小島 (週2時間)	高田・有村 (週2時間)	月	小島 (週2時間)	高田 (週2時間)
4月	・運動とエネルギー	・生命のつながり	10月	・自然界のつながり	・地球と宇宙
5月	【学力重点期間】 ・運動とエネルギー	・生命のつながり	11月	・化学変化とイオン 【2学期期末考査】	・地球と宇宙 【2学期期末考査】
6月	・運動とエネルギー 【1学期期末考査】	・生命のつながり 【1学期期末考査】	12月	・化学変化とイオン	・地球と宇宙
7月	・運動とエネルギー	・生命のつながり ・地球と宇宙	1月	・化学変化とイオン	・地球の明るい未来のために
8月	・運動とエネルギー 【基礎学力テスト】	・地球と宇宙 【基礎学力テスト】	2月	・化学変化とイオン 【学年末考査】	・地球の明るい未来のために 【学年末考査】
9月	・運動とエネルギー 【2学期中間考査】	・地球と宇宙 【2学期中間考査】	3月	・化学変化とイオン	・地球の明るい未来のために

★ 授業は1週間に 4 時間 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
評価材料	①定期考査 ②小テスト ③パフォーマンステスト ④観察、実験の取組み・データ処理	①定期考査 ②ノートやプリントの記入、まとめ方 ③観察、実験のデータ処理や考察 ④レポート	①授業への関心や意欲、授業中の態度や取組み ②授業ノートやプリントの全体整理、記入、まとめ方、話し合い ③問題、課題への取組み ④レポート
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 <p>A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 50%未満</p>		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>各評定の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)</p>		

9 その他

- ①、実験は、安全第一です。(危険な薬品や器具も使います。)実験の説明はしっかり聞いて、実験方法を理解してください。実験方法が理解できない場合や指示を聞けない場合、事故につながりますので実験は行えません。
- ②、先生と生徒で、楽しい授業をつくりあげましょう。今年度も、よろしくお願いいたします。

1 使用する教材等

教科書	教育芸術社 中学生の音楽2・3下
副教材	ニューコーラスフレンズ・鑑賞資料集
その他	

2 学習(授業)の進め方

音楽の授業は、週1時間です。昨年よりも内容は高度になります。毎時間を大切にするためにも、チャイム前着席を徹底し、積極的に声を出していきましょう。また、しばらくの間は背の順で着席しますが、声分けテストの後にパート別に着席します。パートは曲ごとに変わる人もいます。なるべく色々なパートを経験しましょう。

3 宿題(課題)について

長期休業中に出ることがあります。

4 学習(授業)をする上で注意すること

去年1年間で、仲間と協力して元気に歌うことができた3年生。2学期には合唱コンクールがあります。この合唱コンクールに向けて、4月から基礎練習を積み重ね、さらにレベルアップさせ、素晴らしい合唱を作り上げるためにも、次のことをしっかりと行いましょう。

(1) 先生の話をしっかり聞きましょう！様々な指示をします。必ず指示に従って行動してください。

(2) しっかりと音を聞いて歌いましょう。

パート練習の時など、ただやみくもに歌うのではなく、仲間の声をしっかりと聞きながら、さらに発声と声量も、さらに表現力もパワーアップさせて歌いましょう。

(3) 分からないところは聞きましょう！先生の話が終わってから、質問しましょう。

(4) 自分の考えを伝えましょう！

クラス、学年の合唱が上達するために、改善点など、気付いたことを発言しましょう。

(5) 繰り返し練習しましょう！

原則として練習を3回行い、4回目には歌唱テストを行います。毎回集中して練習をするようにしましょう。

(6) プリント類などの提出物は、期限を守って提出しましょう。

(7) 楽譜の書き込みをこまめにしましょう。

5 家庭学習の進め方

(1) 【予習】 合唱曲集を良く見て書き込みをしましょう。

(2) 【復習】 お風呂で歌ってみましょう。

(3) 【提出物】 毎時間自己診断カードを記入し、提出。楽譜、レポートの提出もあります。

6 定期考査前の学習の仕方

(1) まずは、範囲である諸記号を確認し、意味・読み方を覚えましょう。

(2) 授業で話をきちんと聞いて、テストに出るポイントを把握しましょう。

(3) 鑑賞におけるプリントをよく読み、確認しましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱曲『早春賦』 ・合唱コンクール課題曲 ・鑑賞『ブルタバ』 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクール 課題曲 ・合唱コンクールクラス曲 ・合唱コンクール ・鑑賞『展覧会の絵』
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞『ブルタバ』 ・歌唱曲『花』 ・合唱コンクール課題曲 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱曲『帰れソレントへ』 ・鑑賞『展覧会の絵』 ・合唱曲『大地讃頌』 <p>【2学期期末考査】</p>
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス曲決定 ・合唱コンクール課題曲 ・合唱コンクールクラス曲 <p>【1学期期末考査】</p>	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲『大地讃頌』 ・合唱曲『青春譜』
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクール課題曲 ・クラス曲 ・鑑賞『土の歌』 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲『青春譜』
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題：鑑賞等 <p>【基礎学力テスト】</p>	2月	<ul style="list-style-type: none"> 合唱曲『道』『青春譜』 ・卒業式に向けて
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクール課題曲 ・合唱コンクールクラス曲 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式に向けて ・鑑賞『劇団四季』

★ 授業は1週間に 時間 1年間で 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。</p>	<p>曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいる。</p>
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> ☆定期テスト ☆ワークプリント ☆実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ワークプリント ☆実技テスト ☆定期テスト ☆楽譜書き込み 	<ul style="list-style-type: none"> ☆マイマイマイ ☆自己診断カード ☆小テスト ☆レポート
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 <p>A (十分満足できる) : 80%以上 B (おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C (努力を有する) 50%未満</p>		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>各評定の範囲が90%以上で5 (特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4 (十分満足できる) 50%以上80%未満で3 (おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2 (努力を要する)、20%未満で1 (一層努力を有する)</p>		

9 その他

実技教科は、実技が第一です。音楽活動に積極的に参加し、互いに高め合う授業にしていきたいと思います。頑張りましょう。

1 使用する教材等

教科書	日本文教出版 美術2・3
副教材	美術資料
その他	

2 学習(授業)の進め方

制作する課題を提示し、そのための技法の紹介と制作の手順及び注意点や工夫する点について説明します。

3 宿題(課題)について

興味ある美術関係の展覧会を調べ、夏休みを活用して実際に鑑賞し、その内容を所定の新聞形式にまとめて2学期に提出します。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- ・週に1時間の授業なので、内容をよく理解して確実に制作を進めていくことがとても重要です。
- ・授業ではノート(=B5サイズ)を活用するので、記名して準備しておいてください。
- ・表現内容に興味を持ち、美しさや感動を味わおうとする姿勢が制作の原動力となります。
- ・鉛筆や絵の具などの基本的な描画用具をはじめ、その都度必要に応じて持ち物を指示するので持参を忘れないこと。
- ・制作の意図をよく理解しながら丁寧に作業を進め、より良い作品を目指すことが自らの達成感につながります。
- ・貴重な作品制作の機会であることを自覚し、試行錯誤しながら感じたことや考えたことを前向きに表現しよう。

5 家庭学習の進め方

- ・制作のための資料収集や、作者とその作品に関する知識や時代背景などを調べることがあります。

6 定期考査前の学習の仕方

- ・授業で取り組んだ制作内容について、プリントなども活用しながら用具や手順・注意点などを復習する。
- ・試験範囲に指定されている教科書や美術資料の内容について、授業と関連付けながらよく確認しておく。
- ・掲載されている作品の特徴や技法などに触れながら、感じたり考えたりしたことを自分でまとめてみる。

7 学習内容

月		月	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○「名画の模写」について <ul style="list-style-type: none"> ・模写をする意義と制作の説明 ・原画とする作品の検討と決定 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・重色・混色による着彩の選択 ・透明・不透明による描法の併用 ・着彩終了・額装
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・原画への補助線入れ ・拡大枠及び補助線入れ ・原画下描き 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ○課題「篆刻」の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・姓名印を制作する ・印章で陽刻する ・印面に下描きする（レイアウト注意）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・補助線の活用について ・形態の描写 ・明暗や色彩の境界線の描写 ・下描き終了 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・鈕(=持ち手)の制作 ・テーマ「ねじれた形」 ・制作方法を理解する ・下描きから中彫りまで進める
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地塗り(=ベースカラー) ・着彩方法(透明描法、不透明描法、着彩順序等) ・着彩1 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・中彫りから仕上げまで進める
8月	○美術鑑賞新聞の作成(=美術館見学)	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・表面加工(やすり掛けと研磨)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩2(着彩濃度の注意) 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞

★ 授業は1週間に 1 時間 1年間で 35 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の意図を理解している ・技法について習得している ・技法を効果的に用いている ・作者作品の予備知識がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の良さをよく理解している ・より良い作品を追い求めている ・制作に用いる技法が適切である ・手順や条件をよく理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで制作に取り組んでいる ・良い作品を作ろうとしている ・集中して丁寧に制作している ・自ら創作活動を楽しんでいる
評価材料	作品 アイデアスケッチ 下描き ノート 定期考査 授業観察	作品 アイデアスケッチ 下描き ノート 定期考査 授業観察	作品 アイデアスケッチ 下描き ノート 定期考査 授業観察
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A(十分満足できる) : 80%以上 B(おおむね満足できる) : 50%以上80%未満 C(努力を有する) 50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5(特に程度が高い) 80%以上、90%未満で4(十分満足できる) 50%以上80%未満で3(おおむね満足できる)、20%以上50%未満で2(努力を要する)、20%未満で1(一層努力を有する)		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	最新中学保健体育（大修館書店）
副教材	ステップアップ（大修館書店）、保体資料ノート（正進社）
その他	

2 学習(授業)の進め方

- (1) 単元によって男女一緒、男女別で授業を行い、体育分野と保健分野を学習します。
授業の場所については、体育係が連絡します。
- (2) 授業には、体育着、運動靴（ランニングシューズなど）、体育館ばき、教科書「保健体育」（大修館書店）、図解資料「ステップアップ中学体育」（大修館書店）、「保体資料ノート3年」（正進社）など、連絡されたものを用意します。
- (3) 1時間の授業の流れ
- ① 前の時間の授業が終わったらすぐに更衣する。（全クラス武道場更衣室）
更衣室ではしゃべらず、すぐに着替え、荷物を1つにまとめ、すぐに授業場所に行く。
 - ② 授業場所では整列の隊形で待つ。全員そろったら、体育係の指示で準備運動を始める。
 - ③ あいさつ、出欠確認、授業の目標・内容の説明を聞き、理解する。（説明を聞くときは、聞き逃さないよう、集中して聞くこと。）
 - ④ 集合や移動は速やかに行い、活動時間を確保できるようにする。（行動の基本は駆け足。）
 - ⑤ 授業の最後にはもう一度整列し、けが人などの確認とその時間の反省、次時の確認を行い、あいさつをしてから終了。
 - ⑥ 活動終了後も迅速に着替えを行い、次の授業の準備をする。（次の授業に遅れない。）
- (4) 授業後は学習カードで学習内容を振り返り、ポイントを整理し、自分の課題や、記録、次回の目標などを記入します。（体育係が回収して、提出してもらいます。）

3 宿題(課題)について

必要に応じて連絡します。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- 3年生は2年生で学習した基礎的な技能や知識を発展させていきます。また授業でより高い技能や知識を身に付けるために大切なことは「授業規律」です。着替え・整列・体操・集合・あいさつといった、毎時間行うこと、「授業規律」を大切にして授業を進めていきます。
- (1) 正しい身なりをする。半袖シャツはハーフパンツに入れる。髪が肩にかかる場合はゴムで結ぶ。
爪は定期的に切って短くしておく。
 - (2) 用具を大切にし、準備・片付けは協力し、率先して行う。
 - (3) 見学は、生徒手帳にその理由を記入し、保護者の認印を得た上で、授業開始前に担当の先生に報告・提示します。養護の先生の指示があった場合は、その旨を連絡します。見学者は、体育着またはジャージに着替え、先生の指示を受けます。（特別な理由がない限り、標準服での見学は認めません。）
 - (4) 体育着など授業に必要なものを忘れてしまった場合は、できるだけ早く先生に申し出て、指示を受けます。勝手に友達に借りてはいけません。

5 家庭学習の進め方

- (1) 特にありませんが、体調を整えていないと、けがにつながることもあるので、食事や睡眠など規則正しい生活を心がけること。特に、朝食を必ずとるようにする。朝食を抜くと貧血や気持ち悪くなることの原因になります。
- (2) 日頃から運動やスポーツ、健康や安全に関心を持ち、体を動かす機会をたくさん作りましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 毎時間の授業の中での先生の話を中心して聞き、学習カードを活用しながら、ポイントをまとめておくことが大切。
- (2) 教科書やステップアップ中学体育のテスト範囲となっている内容についてはしっかり理解しておく。
- (3) 授業で使用した学習カードやプリントを大切に保管し、内容を見直しておく。

7 学習内容

月		月	
4月	○体づくり（体カテスト） ○保健	10月	○球技 ○保健
5月	【学力重点期間】 ○陸上競技（短距離・リレー） ○保健	11月	○陸上競技（長距離走） ○保健 【2学期期末考査】
6月	○球技 ○保健 【1学期期末考査】	12月	○球技 ○保健
7月	○水泳 ○保健	1月	○球技 ○保健
8月	【基礎学力テスト】	2月	○球技 ○保健 【学年末考査】
9月	○水泳・マット運動 ○保健 【2学期中間考査】	3月	○球技 ○保健

★ 授業は1週間に 3 時間 1年間で 105 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	○運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けている。
評価材料	○定期考査 ○実技テスト ○ノート ○学習カード ○授業観察	○定期考査 ○実技テスト ○ノート ○学習カード ○授業観察	○定期考査 ○実技テスト ○ノート ○学習カード ○授業観察
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てがAならば評定は4以上。各観点全てがBならば評定は3になり、各観点全てがCならば評定は2以下となります 達成度の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	技術・家庭 技術分野 （開隆堂）
副教材	
その他	機械制御材料（機械モデルの製作）

2 学習(授業)の進め方

- (1) 技術・家庭の学習
 - ・ものづくりなどの技術によって、よりよい生活や社会を实践する力を学習します。
- (2) 技術分野の学習について
 - ・「材料と加工」「生物育成」「エネルギー変換」「情報」の4つの技術の内容を学習します。
- (3) 学習の流れについて
 - ・知識や技能を身につける。
 - ・問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する。
 - ・学習したことを社会や生活に生かす。

3 宿題(課題)について

- ・ワーク（ハンドノート）の課題が毎時間あります。授業開始時に必ず提出しましょう。
- ・調べ学習やレポート課題、発表課題などがあります。指定された日に必ず提出しましょう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- (1) 授業前
 - ① 前日の授業の連絡を各自メモし、当日忘れずに持ってくる。（係の連絡頼りにしない）
 - ② 基本用具（筆記用具・定規・教科書・ワーク・赤ファイル）は、毎時間忘れずに持ってくる。
 - ③ チャイム前に着席し、静かに授業準備（配布物や記入）・事前学習・ワークの丸つけなどをする。
- (2) 授業中
 - ① 指定された席に座り、移動せず、集中して授業を受ける。
 - ② 授業で説明されたことや学習内容、必要なことは、積極的にメモ（記録）する。
- (3) 実験・実習中
 - ① 先生からの説明やプリントの指示を理解して、一人一人で行う。（人のマネは学習ではありません）
 - ② 機器や機械を安全に使用し、けがや事故のないようにする。
 - ③ タブレット使用時は、八中ルールを守る。（特に個人使用、充電済、ログイン済、他機能は使用しないなど）
 - ④ 指定された期間で、ていねいに、能率よく行い、授業内で完成させる。（補習等は行わない）
 - ⑤ 指定された時間（10分前）で、一斉に片付けをする。（全員で片付けし、作業はしない）
- (4) 授業終わり
 - ① 静かに授業の振り返り用紙を記入し、提出する。（チャイムまでに済ませる。持ち帰らない）
 - ② 次回の授業道具をメモする。
 - ③ あいさつ後は、速やかに退室する。（次のクラスが入れるようにする）
- (5) 欠席
 - ① 欠席した人は、次の登校日にクラスの人から授業連絡を確認しましょう。（プリント類も受け取る）
 - ② 班に欠席者がいる場合は、配られたプリントを教室の机の中に入れてあげましょう。（メモ書きも）
 - ③ 班に欠席者がいる場合は、振り返り用紙に「欠席」と記入する。（後日、本人も確認してください）
 - ④ 欠席して提出物が出せなかったときは、次の登校日に速やかに提出しましょう。
- (6) その他
 - ① 授業中、基本的に教室を出ることはできません。（授業道具忘れがないか、授業前に確認しておきましょう）
 - ② 技術室内は、危険なので走らない、動き回らない、触らないでください。（フェンスより後ろに行かない）
 - ③ 自分の作品、他人の作品を大切に。持ち帰り後も家庭で活用しましょう。
 - ④ 提出物の忘れは、基本的に次の授業で提出してください。（欠席の場合の申し出、学期末は早めます）

5 家庭学習の進め方

- (1) 宿題について
 - ・ワークや課題をただやるだけでなく、理解を深めながら進めましょう。
- (2) 予習について
 - ・前日の授業でやったこと、次の日に何をやるか、プリント類を事前に見返しておきましょう。
- (3) 定期考査に向けて
 - ・直前になって始めず、余裕をもって準備をしておきましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

- (1) 直前になって始めるのではなく、余裕をもって準備をしておきましょう。
- (2) ワークやプリントを見返し、語句や数値、機器の使い方などを覚えましょう。
（毎時間の記入、丸つけ、提出をしてテスト直前になって困ることがないようにしましょう）
- (3) 授業全体を振り返り、考え方や工夫のしかたが述べられるようにしましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	技術分野のガイダンス エネルギー変換に関する技術（１） ・機械の運動を伝えるしくみ	10月	エネルギー変換に関する技術（６） ・機械モデルの製作
5月	エネルギー変換に関する技術（２） ・回転運動を伝えるしくみ	11月	エネルギー変換に関する技術（７） ・機械モデルの製作 【2学期期末考査】
6月	エネルギー変換に関する技術（３） ・機械モデルの製作 【1学期期末考査】	12月	エネルギー変換に関する技術（８） ・技術の評価・活用
7月	エネルギー変換に関する技術（４） ・機械モデルの製作	1月	情報に関する技術（１） ・計測・制御のしくみ
8月		2月	情報に関する技術（２） ・制御プログラミング作成
9月	エネルギー変換に関する技術（５） 機械モデルの製作	3月	情報に関する技術（３） ・技術の評価と活用

★ 授業は1週間に 0.5 時間 1年間で 17.5 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会のに向けて、課題の解決を主体的に取り組み、振り返って改善したり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価材料	* 定期考査 * 作品（機械モデル） * 調べ学習	* 発表 * 定期考査 * 作品（機械モデル）	* 振り返りシート * ワークシート * 学習予定表
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として達成度を数値化したものは以下の通りです。 A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）20%未満 		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>達成度の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）</p>		

9 その他

1 使用する教材等

教科書	開隆堂
副教材	
その他	学習ファイル（昨年度使用していたもの）（のり、はさみ、裁縫道具）

2 学習(授業)の進め方

学びは全て、自分の『生活を豊かにする』ことに繋がります。現在だけでなく、将来のためにも積極的に学びましょう。

- ・座学：授業の「ねらい」について、自らの考えを深め、共有し、正しい知識や技能の定着を目指します。
- ・実技：裁縫や調理などの実習を通して、実生活で生かせる力を身に付けていきます。

3 宿題(課題)について

家庭での実践課題は、自分の力でじっくりと取り組みましょう。
提出物等は必ず期限を守って提出しましょう。

4 学習(授業)をする上で注意すること

- ① 授業開始のチャイムと同時に始業のあいさつができるよう、移動を早くしましょう。
- ② 実習では、説明と作業の素早い切り替えを意識しましょう。
- ③ 実習教室（被服室・調理室）では、勝手に室内のものに触れず、ルールを守りましょう。
- ④ 作業中は安全のため、集中して行い（無言）、自席で作業に取り組みましょう。
- ⑤ 提出物の期限は必ず守りましょう。
- ⑥ 積極的に発言し、互いに高め合える授業をつくりましょう。

5 家庭学習の進め方

学習内容を家庭で実践することが大切です。習ったことが自分の生活でどのように生かせるかを考え、その日から家で実践しましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

- ① 教科書の文章をよく読み、内容を整理しよう。
- ② プリントを見て、授業で説明された内容を思い出し、ポイントをまとめよう。
- ③ プリントの空欄のみ暗記するのではなく、内容をしっかりと理解しよう。
- ④ 繰り返し、学習しよう。

7 学習内容

月		月	
4月	・ガイダンス A2. 幼児の生活と家族 ① 幼児のころと今の自分	10月	⑥ 遊びを支える環境
5月	【学力重点期間】 ② 幼児の体の発達	11月	子どもの成長と地域 【2学期期末考査】
6月	③ 幼児の心の発達 【1学期期末考査】	12月	① 家庭生活と地域での活動
7月	④ 発達にとってのおとなの役割	1月	② 多様な人びとが暮らす地域
8月	【基礎学力テスト】	2月	③ 地域に暮らす高齢者 【学年末考査】
9月	⑤ 遊びが必要なわけ 【2学期中間考査】	3月	④ 高齢者とのかかわり ・3年間のまとめ

★ 授業は1週間に 0.5 時間を 1年間で 17.5 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価材料	* 定期考査 * 作品 * 技能テスト	* 課題プリント * ワークシート * 発表 * 定期考査	* 学習ファイル（振り返りシート） * ワークシート * 班活動 * 課題プリント
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 ・ 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 <p>A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満</p>		
評定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別評価を総括し、評定とします。 ・ 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>各評定の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）</p>		

9 その他

・ 忘れ物があると、学習内容に支障がでてしまいます。特に実習では、忘れずに道具を準備して下さい。

・ 裁縫や調理は基礎、基本の技能から学習します。苦手意識を持たず、意欲的に取り組みましょう。繰り返し学習する事で力が身に付きます。最終学年として、確実に力を付けていきましょう。

1 使用する教材等

教科書	Here we Go! ENGLISH COURSE 3
副教材	ニューエンジョイワーク3 / 読みトレ100 / モギトレ5
その他	授業で配布されるプリントを保管するファイル(各自で用意してください)

2 学習(授業)の進め方

- ①. ウォームアップ(宿題の確認、帯活動、チャット)
- ②. 前回の授業の復習
- ③. 新しい内容の紹介(新出文法、単語、表現など)
- ④. 新しい内容の繰り返し練習(読む、聞く、書く)
- ⑤. 表現練習(アクティビティ等を通じた表現練習)
- ⑥. ワークシートを使った問題練習(单元ごとに配布)
- ⑦. 宿題等の連絡

3 宿題(課題)について

ほぼ毎回宿題は出ます。(音読やワークシート、単語の意味調べ、本文写しなど)

4 学習(授業)をする上で注意すること

(1) 授業規律を大切にしよう！

英語は「言葉にして言う」ことが大切ですが、それは私語とは違います。
聞くとき、話すとき、読むとき、書くときというメリハリをつけて授業に臨もう。

(2) 発音するときや会話をするときには恥ずかしがらずに、大きな声で！

英語を上達するためには口を動かしてしっかり発音することが大切です。
積極的に表現しよう。

(3) わからないことは質問しよう！

授業中は手を挙げて質問しよう。授業のあとに、先生や友達に聞くことも有効です。
わからないことはそのままにしないこと。

(4) 宿題、課題は必ずやろう！

日々の学習が、英語学習のポイントです。単語・熟語の学習や、教科書本文の音読など、
英語に接する機会を多くすることが大切です。

(5) 忘れ物は絶対にしない！

少人数授業で教室移動があります。自分の教室には忘れ物を取りにいけないので、持ち物
はきちんと確認しましょう。

5 家庭学習の進め方

英語はほぼ毎回宿題が出されます。宿題＝家庭学習です。音読練習、ワークシート等での授業の振り返りなど、日々の学習が、英語学習のポイントです。宿題はためることがないよう、その都度きちんとやりましょう。

6 定期考査前の学習の仕方

英語はほぼ毎回宿題が出されます。宿題＝家庭学習です。音読練習、ワークシート等での授業の振り返りなど、日々の学習が、英語学習のポイントです。宿題はためることがないよう、その都度きちんとやりましょう。また、授業で配られたプリントをもう一度やってみる、ワークを提出する前に2回やってみるなど、自分で色々工夫をしてみましょう。

7 学習内容

月		月	
4月	Unit 1 School Life Around the World	10月	Daily Life 3 ポスター Unit 5 Plastic Waste
5月	【学力重点期間】 Daily Life 1 ディスカッション Unit 2 Our School Trip	11月	Daily Life 4 ニュース Unit 6 The Chorus Contest 【2学期期末考査】
6月	Daily Life 2 留守番電話 Unit 3 Lessons From Hiroshima Active Grammar 1 【1学期期末考査】	12月	Active Grammer 2 You Can Do It! 2 Unit 7 Tina's Speech
7月	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi World Tour 1 Living with Animals You Can Do It! 1	1月	World Tour 2 How Do We Live? Let's Read 3 Changing the World
8月	夏季休業中の課題	2月	Unit 8 Goodbye, Tina You Can Do It! 3 【学年末考査】
9月	Unit 4 AI Technology and Language Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True 【2学期中間考査】	3月	Let's Read More 1 The Runner Waiting Number 67 Let's Read More 2 Visas for 6,000 Lives Let's Read More 3 The Adventure of Tom Sawyer

★ 授業は1週間に 4 時間 1年間で 140 時間を予定しています。

8 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	ターゲットとなる文法事項の意味や機能を理解し、それを基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。	状況や場面に合わせて、正しい表現方法を用いて対応したり、他者とコミュニケーションをとることができる。課題の解決に向けて、周囲と協力しながら取り組む表現力を身に付けている。	ターゲットとなる学習事項を習得しようと、自分で考えながら授業内での活動や、問題の解決に取り組んでいる。
評価材料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査（知識・技能） 単元テスト（ライティング） 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査（思考・判断・表現、リスニング） パフォーマンステスト 単元テスト（リスニングテスト） 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（エンジョイワーク） 授業プリント 単元テスト（ライティング）（休み明けテスト） 定期考査（主体的に学習に取り組む態度） 長期休暇課題
評価	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの観点別学習状況を総括し、学期末の評価を決定します。 学習の実現状況として数値化したものは以下の通りです。 <p>A（十分満足できる）：80%以上 B（おおむね満足できる）：50%以上80%未満 C（努力を有する）50%未満</p>		
評定	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を総括し、評定とします。 各観点全てAならば評定は4以上。各観点全てBならば評定は3になり、各観点全てCならば評定は2以下となります <p>各評定の範囲が90%以上で5（特に程度が高い）80%以上、90%未満で4（十分満足できる）50%以上80%未満で3（おおむね満足できる）、20%以上50%未満で2（努力を要する）、20%未満で1（一層努力を有する）</p>		

9 その他

- 今年度も英語は少人数で授業を行います。2学級を3クラスに展開して実施します。A組は単独で授業を行うため、2クラス展開となります。